

ブログ記事まとめ+α (2017年度版)

著者: のっていー

Copyright © ノッティー All Rights Reserved.

著作権及び利用規約

著作権について

本マニュアルは著作権法によって保護されています。

著作者の事前の許可なく以下の行為を行うことを禁じます。

- ・マニュアルの転売、複製、譲渡、公開（紙媒体、電子媒体、映像媒体、音声等全て）
- ・マニュアルの内容の引用、転載
- ・その他、著作者が不適切と判断する一切の行為

利用規約

本教材は、発行時点の乙の見解をまとめたものであり、その正確性を乙が保証するものではありません。投資・投機にあたっては、全て甲が自己責任で行うものとし、投資・投機によるいかなる損害が発生しても乙は責任を負わないものとします。

■ はじめに

どうもノッティーです！

この度は本PDFのダウンロードありがとうございます。

このPDFは、主に僕が2017年度にブログで書いた記事について一部を加筆修正してまとめたものです。

ブログを4年もやっていると、自分のトレードに関する考え方だったり主張は一通り出しているのですが、似たようなオチの記事が多くなっているのは否めませんが、それだけ僕としては重要な事だと考えて書いています。

トレードで悩んでいる方、迷っている方の参考になれば幸いです。

一番ブレイクスルーしたと感じた時の記憶

「勝てるまでにブレイクスルーのようなものはあったの？」

というコメントをもらったので、今回ははそのことでも書いてみようと思います。

その前にですね、トレードやってると色々なブレイクスルーがあるんですよ。

検証すらしてないのに「**お、この手法は勝てる！**」という本当に軽いものから検証を繰り返して「**ああ、そういうことか！**」というものまで……。

そういった様々なブレイクスルーの中でも、今思い返して一番大きなブレイクスルーのお話をしたいと思います。

それは、「**ある程度手法が固まってきているのに勝てない、何で？**」

というかなり辛い時の話です。

その時は、結構いいエントリーポイントはわかるようになったものの、分かっていても行動できなかつたり、1回目のトレードのミスや損切りを次のトレードに引きずったりして、1日トータルでは負ける事が多かったです。

そんなある日、「**何でこうなっちゃうんだ！！**」

という物凄いストレスで、僕はブチ切れてしまいました。

しかしその時は自暴自棄になって滅茶苦茶なトレードを始めるのではなく、

「それならルール通りやって負けてやるよ！！ゴルア！！」

と、負けることを前提に同じ手法でルールに忠実にトレードをすることに決めました。

(でも1000通貨でトレードしたのは小心者の証)

「どうせ負けるんだろ？この野郎が！！」

と思いながらトレードすると、何故か負けない。

いや、負けがあっても負けること前提だから、想定の範囲内。

だから次のトレードでも精神的に引っ張られない。

引っ張られないから、次もエントリーが的確になる……。

どうせ負けるんだと思うから、負けると思えばすぐに損切り。

逆にエントリー方向に伸びたら「どうせすぐに損切りまで戻ってくるんだろ？」

と思って利確を遅らせるとトレンド方向に伸びる伸びる……。

結果、月単位で大幅プラス……。

負けるつもりでトレードしていた結果、それまでのトレード人生の中で、最高の結果を叩き出してしまうという皮肉……。

でもこのとき分かったんです。

トレードってこんなもんなだって。

自分の中の怯えとか、恐怖とか、そういうものが大きすぎると、本当のチャンスに限って尻込みして大きな利益を逃してしまう。

ダメなら損切りやいんだから、チャンスが来たらしっかり狙えばいいんだ！

でも、それ以外は絶対に手を出したらダメだからな！

そういうことが完全に理解できたおかげで、僕のトレードはグッと良くなりました。

今思い出しても、コレが僕の中で一番のブレイクスルーでした。

同じ手法でトレードしていても、考え方次第で全然成績が変わってくる一例になるかなと思います。

トレードの技術が上がっていることを知る時

このようなコメントを頂きました。

本当にイライラする相場が続きますね。

しかし、最近トレードしていてふと気づいたことがあります。

「昔ならこんなどうしようもないところで、熱くなってエントリーしてたよな〜。」
ということです。

最近の低ボラ相場であるからこそ気付けたのかもしれませんが。

今の現状は、当然エントリーを見極めるのも重要ですが、「やってはいけない相場」を見分けるのにはいい修練の時であると思って頑張っていきたいと思います。

(コメントを頂いた時期は、非常にボラが低く相場が停滞していました)

自分自身のトレード技術が以前と比べると上達したことを感じるのは

「**相場が自分と合わない時**」と「**自分が不調な時**」ですね。

どちらとも歓迎すべき状況ではないんですけど、

トレードをしていたら必ずやってきます。避けられません。

こんな時にどう考えるか、どう対応できるかで自分の成長を感じますよね。

以前は相場が自分に合わない事にも気づけなかったのに、今はそれが分かる、とか

調子が悪かったらブチ切れてポジポジ病になっていたのが、

今は冷静になってトレードを休止できるようになった、とか・・・。

トレード結果が数字に表れていなかったとしても、こういったことが

実感できるようになると、「あ、自分は進んでるんだな」と分かります。

トレードで調子が良い時は誰にでもあります。

そんな時に「俺って成長したなあ！」と思うのはちょっと危険なんです。

相場がいいだけの時も多いし、調子に乗りすぎることもありますし。

トレーダーの技術がはっきりわかるのは不調の時。

不調の時にいかにして損失を減らすかが重要。

トレードで長期的に勝ち続けるには「攻め」よりも「守り」が大事なんです。

コメントをくれた方のように、今のようなクソ相場が続く時期を

「やってはいけない相場」を見分けるのにいい修練の時と捉えて

守りの技術を高めるのに徹する、と考えるのは素晴らしいと思いますよ。

相場が悪いと愚痴るだけではダメですね。（僕みたいに・・・）

考え方次第でクソ相場も学べる相場に変わる！

そう考えると今の相場も多少は楽しめそうですね。

検証、デモ、リアル間のギャップについて その1

検証では勝てるのに、デモやリアルでは思うように勝てない。

デモでは勝てるのに、リアルでは勝てない。

こんな相談をよく頂きます。

手法を学んで、一生懸命検証を続ければ、MT4やFT2、FT3等のソフトで過去のチャートを動かした「検証トレード」で勝つのはそう難しくありません。

多分、本気で取り組んでいる人であれば、この時点でつまづく人は少ないんじゃないかと思います。

検証の時点で求められるのはトレード手法のエッジ。

加えて自分の裁量力。

この2つが要件を満たせば、検証トレードならトータルでプラスになるはずですが。逆に言えば、検証トレードで勝てないのは手法を理解できていなかったり、単に手法に優位性が無いから…ということになります。

検証トレードで満足したら次はデモトレードに移るわけですが、検証トレードとデモトレードには**ギャップ**があります。

それは、チャートがリアルタイムで動くことのストレスと、デモとは言えど、より現実感のある損益です。

検証ソフトでは、自分の好きな速度でチャートを動かせます。自分の手法の範囲外のところだったらサーっと飛ばせばいいですし、逆に自分のエントリーが近くなれば速度を緩めて、もしくは一時停止してじっくりと状況を確認して入ることが出来ます。

しかし、デモでは時間的な調節ができませんから、
自分の手法外の動きの時は待たなければいけません。

慣れないうちは、これが結構ストレスになってしまいますね。

しかも、検証トレードとは違って、デモでは1日にトレードできる回数に限られていますから、どうしても「物足りない」感じになるかもしれません。

更に検証トレードとデモの「違い」を感じさせるのがエントリーとエグジット。
検証トレードでは何気なしにそしてルール通りにトレード出来ていたのに、
デモではエントリーする直前の微妙な動きに翻弄されたり、
思い切ってエントリーできなかつたりします。

で、ポジションを持ったら持ったで、「このポジション本当に大丈夫かな？」
と思って検証時には気にも留めなかったところが気になったり、
規則的には必要のない他の時間軸を見たり・・・。

デモだとポジションを持っている「時間」もリアルになりますから、
余計な事を考えちゃってチキン利食いになったり、
損切り出来なかつたり・・・となってしまうんですね。

以上をまとめると、検証トレードとデモトレードで感じるギャップはこうなります。

- ・ **チャートの動く速度に調節が出来ないので時間をかけてリアルに「待つ」必要がある**
- ・ **デモでは1日のトレード回数が限られているので物足りなさを感じる**
- ・ **エントリー直前のちょっとした動きに翻弄されて戸惑う**
- ・ **ポジションを持っている時に色々な事を考えてエグジットに影響する**

まあこれだけギャップがあったとしても、検証トレードもデモトレードもお金がかかっていないので、そこまで大きなストレスにはなりませんし、検証トレードで普通に勝てる人がデモをそれなりに続けていれば、コツもつかめてきて勝てるようになると僕は思います。

まあここまでは良いですよ。

問題はデモとリアルトレード間のギャップですね。
それは次回に続きます。

検証、デモ、リアル間のギャップについて その2

前回の記事では主に検証トレードとデモトレードの違いやそこから生じる心理的ギャップについてまとめました。

もう一度まとめると、検証トレードとデモには、こんなギャップがありました。

- ・チャートの動く速度に調節が出来ないので時間をかけてリアルに「待つ」必要がある
- ・デモでは1日のトレード回数が限られているので物足りなさを感じる
- ・エントリー直前のちょっとした動きに翻弄されて戸惑う
- ・ポジションを持っている時に色々な事を考えてエグジットに影響する

今回はその続きのデモとリアルギャップです。

デモトレードとリアルトレードって、やってることは基本的に同じです。
違うことは1つだけ。**お金がかかっているか否か**。これだけ。

ですが、人はカネのために人生の大部分を費やす生き物ですから、
カネが絡むと予定通り、理屈通りには動けなくなるんですよね。

エントリーポイントでロングするにしても「もう少し安く買いたい！」
と思って待っていたら、そのままバイーンと伸びて呆然としたり、

ポジションを持って含み益が順調に伸びていたけど、
少し逆行したら利食いでも損切りでもない中途半端なところでエグジットしたり、

損切るところで損切れず、そのまま持っていたら、
含み損が増え続けるクソポジを持っている状態に慣れてしまって、
「このポジが助かるまで損切りはしないぞ！」と決めて自滅したり、

連敗した分を取り戻すためにロットを上げて、しかもエントリーすべきでない
ところでエントリーしたり・・・。

これらは僕が何度もやってきた間違いの一例ですけど、
まあ誰もが経験あるんじゃないかなと思います。

**人はリアトレードに移ると、精神的に辛い状態から逃げるために、
「本来やるべきこと＝優位性のあるトレードを続けること」を放棄しちゃうんですね。**

相場は本当に良くできたもので、感情に流されてトレードしたらまず負けますから。
じゃ、こういったデモとリアルの深いギャップをどう埋めましょうか？

ここで**「リアルトレードでも検証トレードやデモトレードと同じ感覚で、
プレッシャーを一切感じずにルールを守ってトレードを継続出来る秘策」**
なんてモノがあれば、トレーディング自体がもっと簡単になるんでしょうけど、
そんな秘策は僕は知りません。

まあ僕に提案できることと言えば、**デモとリアル**の差を低くすることでしょうか。

リアルが難しくなるのはカネの問題です。

ですから、デモトレードから高いロットになればなるほど
心理的障害が強くなるわけです。

平均台で言えば、デモトレードは0センチ、
それからリアルトレードのロットが上がるほど台の高さも上がる感じです。

まあ普通に考えたら低い高さから慣らして行って、
徐々に高さを上げていくのが一番ですよ。

ただ、こうやって徐々に慣らしていくやり方をやる人は決して多くないみたいです。

トレードは利益を出すためにやってるものですから
デモで勝てるようになったら、すぐに自分の望む金額を稼げるロットで
トレードしたいと思うかもしれませんが、

そんなに簡単にいくものでもないんですよ。

**相場で勝つ技術を持っていても、その技術を発揮できない
メンタルになる状況で戦っても勝てないんですから。**

もっともっと低いところから、徐々に徐々に慣らしながら
やっていくのが一番ですね。

急がば回れ。大事なことだと思います。

検証とは、自分自身への洗脳である

今回は一貫性のお話でも。

トレードで勝つために求められることは色々あると思うんですが、
やっぱり**一貫性**は外せないでしょう。

諸説ありますが、相場はランダムな要因があることは否定できません。
そんな中で、一貫性の無いエントリーとエグジットを仕掛けることを続ければ、
良くてスプレッド分の損失、普通ならプロスペクト理論の分だけ損失を出します。

じゃ、どうやって勝つか？というと自分の知っている「**優位性**」のある
ポイントだけで仕掛けていく「**一貫性**」が必要になるのです。

まあこんなことはトレードを少し学んだ人なら誰でも知っているでしょう。

でも、一貫性のトレードが出来ている人は実は少数派。

その理由は、一貫性のあるトレードを続けるのは「**しんどい**」から。
「優位性のあるポイントで仕掛ける」と言っても、どうしてもランダムの
影響を受けて負けが続いたり、、思い通りに行かないことが続くと
「このやり方で本当に良いの？」と思ってストレスが溜まるんですよね。

そんな時にピコピコ動く相場を見ていると、なんだかチャートが
「**エントリーしろよ！今はロングしたら勝てるぞ！**」と言っているように見えて
ポジポジ病が発症していく……。そして自滅……。

まあこんな流れはよくあるもんです。

僕が思うに、こんな状態は「まだまだ検証が足りない」です。
検証は、自分の手法を頭に入れるだけではなくて、
自分でしっかりと使いこなせるようになるため、
更には「**このやり方以外でトレードするのは怖い、ありえない！**」と思えるように
するためのものです。

この記事のタイトル通り、**検証はある意味洗脳**なんです。
自分の信じる手法から離れないようにするためのね。

僕はGMMAを使ってトレードしています。
使っている理由は色々あるんですが、やっぱりトレンドが一目で分かるチャートは、
トレードしていてもわかりやすいですし、
検証によって自分自身を洗脳しやすいんじゃないかなと思っています。

「洗脳」と書くと、なんだか怪しかったり宗教じみた感じがしますが、
自分の中で完結すれば何の問題もないんです。

続けていけば、それが「**トレードの信条**」になるだけですから。
信条が確立できたトレーダーはブレにくいから更に強くなるんです。

自分を変えられるのは自分だけ

つい先日本屋さんで「嫌われる勇氣」という本を買いました。

今は読み進めているところなんですが中々面白いですね、コレ。

アドラーの心理学について対話式で解説していく本なんですけども
その中で「**自分を変えることができるのは、自分しかいません**」
という一文がありました。

まあよく目にする耳にする言葉ですが、
なぜかこの文章を読んだ時は「やっぱそうだよなあ」
と妙に納得してしまいました。

トレードをやっている人は何かしらの願望を持っていると思います。

- ・ 決まったところで損切りできるようになりたい
- ・ チキン利食いばかりせず利を伸ばしたい
- ・ ポジポジ病を克服したい
- ・ 忙しい中でも検証できるようになりたい
- ・ 常にフラットなマインドでトレードしたい

などなど。

これらは全部「**変わりたい**」と思っていることでもあるんですね。
で、このような願望をかなえるために僕たちは何をしているかというと、
本を読んだりネットでヒントを探してますよね。

僕も初心者の頃は「損切りが出来ない」とかのキーワードで色々検索していました。
その過程で確かに「なるほど！」と思えるような記事をたくさん読みました。

でも、それらは自分が変わるためのきっかけに過ぎないんです。

自分の中に染みついた習慣や行動様式、ましてやトレードのようにお金を賭けている時の自分自身の考え方や動きは、
他人から何か言われてもそう簡単には変えられません。

自分の辛い経験から、もしくは本や誰かの言葉によって感銘を受けて、「何としてでも変わりたい」と思えないと、自分は変わらないんですね。それだけ変わることは難しいわけです。

しかも変わろうとすることは、それまでの「自分の心地よいと感じる状態（コンフォートゾーン）」から積極的に離れるのでとんでもない心理的な負荷が生じます。

週の初めに「ルールを絶対守る！」と決めても水曜日くらいから段々とルールを守れなくなるのは、いつもやっていないことをやろうとして無理し過ぎてコンフォートゾーンに戻ってきたってことになりますね。

人間は、すぐに自分の習慣を変えることは出来ません。

でも、本気で変わりたいと思って意識しているのであれば、いきなり変わることは出来なくても、徐々に変わっていきます。

本当に少しずつでもいいから習慣化していけば何とかなるもんです。もちろん時間はかかります。人によっては数年単位必要かもしれません。

でも、「自分を変えられるのは自分だけ」ならば、自分が何とかしないとイケないわけですね。

今の自分は過去の自分の行動の結果。
将来の自分は、現在の自分の行動の結果。

将来の自分をより良いものにするためにも、今変わろうとすべきですね。本当に変わりたいと思うのなら・・・

上手な情報の取捨選択

どんなトレーダーでも、トレードするために必要な情報があると思います。

僕の場合だと、5分足、1分足チャートの動き、その日の指標などですね。
5分足と1分足にはGMMAとRCIのインジも表示させているので、
チャートから得られる情報量は結構多いんです。

トレードするための情報量が多いと、有利になることもありますが、
情報に惑わされて不利になることもあります。

特に、慣れていない人や検証不足の人は

「どの情報を優先させるのか」がよくわかっていないので、
自分が得られる情報を全て平等に扱ったり、時には無視すべき情報やいつもなら
参考にもしない情報をトレードの判断に取り入れたりするわけです。

まあかつての僕も情報に翻弄されて、終いには頭が混乱して
チャートを見ても「何が何だかわからん・・・」という状態になったことがあります。

ホントね、何を考えたらいいのか分からなくて頭が真っ白になるんですよ・・・。

そんなことにならないために、僕は5分足と1分足では
「何を目的に見ているのか？」を明確に使い分けています。

具体的には5分足では大きな流れの把握とロングで狙うかショートで狙うかを
決めるために見て、1分足ではエントリーとエグジットを決めるために見る、
というやり方です。

こうやって違う時間軸から得られる情報の使いどころを「明確に差別化」することで、
マルチタイムフレームの情報に惑わされずに済むんですね。

情報の取捨選択はインジの使い方でも同じことが言えます。

例えば僕が使っている3本RCI。

僕は主にGMMAを優先しているのですが、ある時にだけ3本RCIからの情報を
参考にしてトレードしています。

常にRCIを重要視しているわけじゃないんですね。

こんな感じで、自分がトレードに使う情報を前もって明確にして、それらの情報をどうやって使うかの使い道や優先順位をルールとして組み立てていくことは大事だと思います。

1分足と5分足しか見ないと決めているのに、たまたま1時間足を見たら上げそうだったからロングした・・・なんてことはダメなんですね。

トレード中に入ってくる数多の情報を自分のやり方でサッと整理出来ること。これもトレーディングの技術でしょうね。

勝てるようになった時の肩透かし感

金曜日にコメントをご紹介した方から、このような質問を頂きました。

勝てるようになってからの不思議な感覚ってありますよね。

私はトレード歴1年半になる31の男子です。

いままで中々勝てないトントンのような状況が続いていて、寝る間を惜しんで手法の勉強、検証、メンタルに関する本などを讀んだりしておりました。

その中で**最近ちょっと勝てるようになってきてなんか肩透かし感のような変な感じの気分**になっております。

以前は勝てるようになるまでfxの勉強以外はやらない！

という気合で起きてる時間で仕事以外の時間はそれしかやらない生活をしてました。

睡眠時間も7時間から4.5時間に変えて朝5時から勉強を行う日々でした。

最近では以前と比較して実トレードの割合が増えたので基本的には平日仕事が終わった後はトレードを行い、実トレードを行うにあたっては体調管理もするべく睡眠時間も6時間に戻している生活を送っております。

自分的にこの生活は以前に比べてストイックさが足りない気がして少し気になっています。

あと以前は勉強の内容として自分の中で勝てる手法というものが確立されていなかったものでそれを探したり検証したり、といった作業が中心になっておりました。

現在はまだまだ検証、実トレードが足りないのは間違いないですが、

ノッティーさんのおかげで優位性のあるシンプルな手法を得た気がしています。

こういった中で今後どういった勉強に取り組んでいくべきでしょうか？

かなりストイックな方ですね。かつての僕を思い出します（笑）

きっと相当真面目に取り組んできたからこそ、このような悩みが生まれてくるんだとおもいます。

質問の内容としては、大体こんな感じです。

「勝つために努力を続けているけど、リアルトレードで勝てるようになってきてからは体調管理も考えてトレードの勉強時間を減らしている。以前と比べると努力が足りない気がするんだけど、これでいいんだろうか？」

不安になる気持ちはよくわかります。

勝つために膨大な努力をしていたのに、その努力量が減って大丈夫なのか？

真面目にやっている人ほど、こう思うはずですよ。

ただね、何でもそうですけど最初が一番大変なんですよ。

新しく何かを学ぶ時は、何を学ばばいいのか知らないし、
どうやって学ぶのかも知らない。
そして学んだことをドコで活かせばいいのかも知らない。

FXを始める人の多くが、それまでのキャリアとは全く関係ない状態でゼロから始めるわけですから、最初の学びは遠回りばかりで効率が悪いのです。

だから時間がかかります。泳げないのにプールに飛び込んで藁をもつかむ思いでバシャバシャともがいて苦しむような感じです。
(でも個人的にはこのプロセスはとても大事だと思います)

そんなものがく中でも、続けていくとコツが掴めてくる。
自分にとって合ったトレード手法やスタイルが分かってくるし、
検証のやり方についても、経験を積むことで効率は徐々に上がってくる。
自分に足りないものが分かっているので、そこだけをピンポイントで学べる。

こんな感じで、トレーダーの能力が上がってくると、勝つため、
勝ち続けるために必要な努力の量や時間が少しずつ減ってくるものなんですよ。

飛行機も一番燃料を使うのが離陸の時。
一度飛び立ってしまうと、離陸の時ほどはエネルギーを使いません。

質問された方は、それまでの膨大な努力のおかげで現在の状態に到達できた経験もあってか、

「トレードで勝つためにはストイックに時間をかけて努力を続けないといけない」

と思われているように感じます。だから肩すかし感があるんでしょう。

でも大丈夫。心配ありません。

トレード技術の向上のコツを掴めたのであれば、今後は毎日のトレードの見直しと、トレード中に「これはどうだろうか？」と思ったポイントやチャートの検証を定期的に続けていけば大丈夫だと思います。

ベースが出来上がっていたら、後は比較的楽になるものです。

もちろん「俺は勝てるんだぞ！グハハ！」と調子に乗ってはダメですよ。調子に乗ると面白いくらい相場にやられますからね。

文章を見た感じだと、トレードの大きな大きな壁は超えたように思えますので、今後はリアルトレードで多くの経験を積んで腕を磨いていかれると良いでしょう。

それから、自分の考えに合う相場書を読むのも効果が高いですね。

直接的なトレード技術の向上というよりは、相場との向き合い方を再確認させてくれるという意味で、大きな効果があると思います。

僕も魔術師シリーズやゾーン、デイトレード、リバモア関連は定期的に読み返すことにしています。

損切は経費！と割り切るのが難しい理由

トレードは利食いと損切を繰り返して、それらを総合させた結果として利益が出ていることを目標としてやっていくものですから、損切は避けられません。

だから僕は、**損切は必要経費！**

と、ブログで何度も書いているんですが、なかなか割り切るのは難しいですね。

僕も今月は5連敗がありまして、やはり良い気分はしませんでしたし、少々不安な気持ちにはなりました。

では何で損切を経費と割り切るのが難しいのでしょうか？

僕なりに考えてみました。

1. 事前に利益になるか経費になるかわからない

損切が経費だと割り切れない一番の理由はコレじゃないかと思います。

「商品を仕入れてそれを売る」といった普通の商売では、仕入れが経費になります。お金を出して商品を仕入れないと仕事になりません、だから経費なのです。

では、商品を仕入れたとき、商売人は損切りをしたような気分になるのでしょうか？

「商品仕入れてしまったよ、クソッ！」と思うのでしょうか？

仕入れた金額や事情にもよるでしょうけど、そうはならないと思います。

むしろ、「**この商品売って利益を出すぞ！**」という前向きな気分になるんじゃないかと。

これは僕たちトレーダーがトレードに関する本や商材やツールを買ったときに、

「よし！今回買ったコレを利用してトレードで勝つぞ！」

と思うのと同じような心境じゃないでしょうか。

では、何で経費としてお金を出しているのに前向きな気持ちになれるのかというと、**事前にお金が減ることを了承した上での行為**だからだと思います。

お金を出すことで、今後自分が更に利益が出せるようになる、
そう考えるから前向きに経費を支払えるんですね。

では、トレードはどうでしょう？

エントリーした時点では利食いになるか損切になるかわかりません。
ポジションの推移が、含み益から一気に転落して含み損、そして損切にヒットすること
も当然のようにあるわけです。

この状況を見ていたトレーダーの心理状況としては、「よし！今回は勝ちになりそうだ！」
と思ったところで一気に転落して損切になるわけですから、
損切幅分だけでなく、それまでの含み益分も損した気持ちなることも否めないですね。

まあこんな感じでトレードは事前に利益になるのか経費になるのかが不明で、
ポジションを持っているときに妙な期待をしてしまうために、
損切をしたときに「**必要経費だから！**」と割り切りにくいんだと思います。

2.損切した後にアレコレ考えてしまう

損切すると「何で負けたのか？」について考えたくくなりますよね。

「もしエントリーしていなかったら・・・」

「せめてトントンのところで終わってればよかったのに・・・」

などなど、後知恵バイアスも手伝って、あたかも「自分は前から知っていたのに！」
といった気分で損切したトレードを考えてしまうと、後悔とか残念な気持ちが強くなって
経費と割り切ることができずに、単純に「損した！」って気分になりますね。

トレードの反省をすることは大事なんですけども、
トレーダーの相手は偶然をはらんだ怪物である相場ですから、
僕たちがいかにルールに従って「正しい」取引をしていたとしても、
負けることはあります。損切は避けられません。

だから、「負けには必ず原因がある」と思い込んでしまうと、
「損切は経費」という考えが頭に入りにくくなるでしょうね。

それでも損切は経費だと考えたい！

今日はちょっといつもより時間に余裕があるので文章の多い記事になりました。

「損切は経費！」と割り切れない理由について僕の考えをまとめたんですが、
割り切るためには、やっぱりトレード経験を積むしかないかなと思います。

ロットを最低まで落として、ガムシャラに優位性のあるルールに
従ってトレードしていけば、結果として利益が出ていることを体験することができます。
この経験が有るか無いかだけでも、損切に対する考え方がぜんぜん違ってくると思います。

最強のトレード手法を考えてみよう

今回は最強のトレード手法について考えてみたいと思います。

とりあえず、僕の考える最強のトレード手法を挙げて行きます。

- ・高勝率（限りなく勝率100%に近い）
- ・損小利大
- ・エントリーした瞬間に含み益が出て、そのまま利食いまで一気に伸び続ける
- ・通貨ペア、時間軸、時間帯に関係なく機能する
- ・トレンドでもレンジでも関係なく勝てる
- ・相場の天井から底まで全部を狙える
- ・とっても簡単で初心者でも3分で分かって実行できるので、検証する必要が無い
- ・トレード頻度が多い

こんな感じでしょうか。

全部満たす手法があったとしたら、メンタルなんて1ミリも必要ないよね。

なんか初心者向けの情報商材のセールスレターみたいだ・・・。

まあ、上に挙げたことを全部満たす手法はまず存在しません。

トレード経験が浅い人ほど、どうしても「聖杯」がどこかに存在するんじゃない・・・

と誤ってしまいがちなんですが、僕が知る限りは存在しません。

つまり、誰をも満足させる手法なんて無いわけですね。

ではどうするか？というと、自分の求める手法の条件の中で、

「何を最優先させたいか！」が大事になってくると思います。

例えば損切りしたら精神的にキツイので、勝率が高い方が良いと思う人は、

早めに利食って勝率を上げる・・・みたいに。

でもトレード手法というのは、基本的に「**あちらを立てればこちらが立たず**」なので、高勝率を求めて早めに利食えば、損大利小になっていきますし、期待値も下がる傾向にあります。

エントリーチャンスが多く求めて時間軸を小さくすれば、その分だけダメシも多くなります。

トレンドで勝てる手法はレンジで勝てません、逆も同じです。

こんな感じで、**何か一つ利点を求めようとすれば、何かを諦めないといけないことが多いのです**。コレが現実です。

そんな厳しい現実の中で、自分の生活スタイルや考え方やメンタルを加味して、**「どれが一番ルールに従いやすいのか、精神的に楽なやり方はどれか？」**を考えながら、手法を探したり組み立てる必要があるわけですね。

当然、自分の求めるままの手法なんてありません。自分に合ったルールだけではダメで、自分から手法に合わせていかないとけません。

この「**自分から手法に合わせる**」事こそがトレード技術を磨く過程になるんでしょう。

で、継続して技術を磨き続けたら、勝率も期待値も徐々に上がってきて「これ以外の手法でトレードなんて怖くて考えられない」みたいな考えになります。

この時こそ、自分にとって最強・最高の手法が手に入った時になるのかなと思います。

トレードは一発勝負じゃないよ

トレードのやり方というのは人によって全く異なります。

戦う市場、銘柄、時間足、トレード手法、色々あるわけです。

そんな無数のやり方がある中で、コンスタントに利益を出している人の特徴に「**一発勝負を仕掛けない**」というものがあると思います。

一発勝負というのは、もし失敗したら立ち直れないくらいリスクを取って1回のエントリーすることです。

最近の仮想通貨でも初心者の方がやっていることが多いですよ。ビットコインに貯金の多くを賭ける、といったやり方です。一発勝負は。

この一発勝負型は当たったら大きいんです。本当に大きい。

ほんの短い期間で専門トレーダーよりも稼いでしまうんですから……。

だからこそ多くの初心者が一攫千金を夢見て一発勝負を仕掛けに行くんですが、確かに成功する人もいる陰で、失敗して首をくくろうと本当に考える人もいます。

これだと本当に「運」なんですよ。

一発勝負で大儲けして、その資金を使って更にもう一発、またもう一発……とやっている、いつかはお金が無くなってしまふのは目に見えています。

じゃあどうするか？という、コンスタントに勝つためには「一発勝負をしない」のです。

言い方を変えると、リスクを限定した中で取引を繰り返すわけです。複数のポジションを持つにしても、1つしかポジションを持たないにしても一緒です。

トータルリスクを考えながら優位性のある取引を繰り返す。コレです。

トレードの1回1回の勝ち負けは運の要素が大きいです。
まあ中には自分が思っている以上に多く取れてしまって、
「このトレードはロット上げときゃ良かった・・・」なんて思うこともあります。

でもそれは結果論に過ぎません。

少なくともエントリーする時点では結果が分からないわけですから、
損切りになる可能性もあることを認めてリスク管理をするのは必須なのです。

こんな取引を何度も続けていって、手法に優位性があれば、
ジワジワとながらも資金は増えていきます。

もし優位性が無くても、リスク管理とルールさえしっかり守っていれば、
一気にズドンとお金が無くなる可能性は低いと思います。
そんな負の優位性のある手法だったら、逆方向にエントリーすればいいですし。

僕は何度も言っていますが、「**トレードはビジネス**」です。
1回の取引で自分の資金が大きく上下するような事はやるべきでは無いのです。

長年やっても結果が出ない人の特徴

僕も教材を販売して丸3年が過ぎました。

その中で色々な方とメールでやりとりしてきたのですが、
トレード経験が長いにも関わらず、なかなか進歩出来ない人がいることを
知っています。

今回はそんな人たちの特徴について書きたいと思います。

該当する人にとっては、チクリとしたり、イラッとするような内容かもしれません。
その辺をご了承の上ご覧ください。

まず、長年やっても全然勝てない・・・という人に足りないのは**ビジョン**です。

今自分が何をやっているのか、何が足りないのか、何をやらないといけないのか・・・
といったことが見えていません。

単に「勝ちたい!」と思ってトレードしているだけなのです。
でも、「勝ちたい」と思うのは世界中のトレーダーも同じです。
「勝ちたい!」と漠然と思う人たちの中から一步先んじるには、努力が必要です。

その努力の一環として、検証を頑張っている人は多いのですが、
長年やって勝てない人は、「**検証している気になっている**」だけなんですよね。

MT4だったりFT3とかをガーツと動かして売買して、
「よーし、これでOK、今日は頑張ったなあ!」といった感じで・・・。
でも検証はザッとやるものではありません。

毎回何らかの目的を持ってやるものです。

自分の頭の中にある疑問や、自分の技術を高めるために、
しっかりと「意識」しながらやらないと意味がありません。

また、長年やって結果が出ない人の多くが、過去のトレードを見て反省しません。自分自身の行為って、「やったその時」では客観的に見るのが難しいです。

だけど少し時間を置いてから見直すと、自分のトレードの特徴だったり、足りないものが本当によく見えます。恥ずかしいくらいに・・・。
でもこれが本当の宝の山なんですよね。

だからこそ、勝てないうちはトレード時間を削ってでも過去のトレードの見直しをやるべきだと思うんですが、長年勝てない人はリアルトレードを優先するんですよ。

「**トレードしなきゃ利益は出せない**」と考えて・・・。

で、当然勝てないから次も適当な検証をして「やったつもり」で終わる。

この繰り返しで時間が過ぎ、トレード経験は多くても技術がなかなか身につかず、「何で勝てないんだよ！」と手法について疑い出す。
で、新しい手法に乗り換える。そして同じパターンを繰り返す・・・。

僕としては、自分のトレードを見直して自分自身への課題を見つけて、それについて過去のチャートを検証して、その次に実戦で出来るようになるまで訓練する・・・というプロセスが大事になると思っています。

つまり、**過去の相場と自分の過去の両方から学んで行かないとダメ**ということです。

受験勉強も同じですよ。

過去問を解いて傾向を知るだけではダメで、解いた過去問から自分の苦手なところや改善点を見つけて、更に実力をアップさせるために使わないといけません。

まあなんと言いますが、長年やって勝てない人はちょっと自分に甘いところがあるのかな？と感じます。

趣味としてトレードを楽しみたいのなら話は別ですが、
本気で利益を出したいと思うのであれば、嫌なこと苦しいことにも
立ち向かっていく必要があるのです。

■ 終わりに

ブログ「GMMAとRCIで専業トレーダーになりました！」をはじめ4年が過ぎようとしています。

平日はほぼ毎日記事を書いています、意外と飽きずに続くものです。(笑)

トレードを長く続けていると、それまでとは違った考え方を受け入れられたり、自分でも気づかないうちに徐々に考えが変わっていったりしていることに気づきます。

特に僕のように日々のトレードやその時思っていることや考えていることをブログにまとめていると、後になって振り返ったときに「当時はこんなことを考えていたんだ」とか「最近意識している事だけど、この時点で気づいていたんだなあ・・・」なんて思うことがありますね。

自分自身がどれくらい進んでいるのかが分かるので、なかなか面白いですし、過去の記事の中に僕自身にとってもヒントとなる事が書かれていて驚くこともあります。

自分の頭にあることを発信していくことは、読んでくださる読者の皆様だけでなく、僕自身にとってもメリットのあることだと感じています。

正直言って毎日ブログを更新するのはしんどいときもありますが、これも一つのトレードノートだと考えて今後も頑張っていきたいと思います。

最後の最後に広告を・・・。

僕のトレード手法と考え方につきましては、詳しく解説したマニュアルをDLmarketにて販売しております。

数あるトレード手法の中でも有効性の高いされる「**押し目買いと戻り売り**」をGMMAとRCIを使って仕掛ける手法です。

販売開始から3年半が過ぎて、既に色々な方からご購入頂いており「わかりやすく具体的な実践しやすい」と好評をいただいています。

また、教材購入者の方の中には専門トレーダーになられた方もいますし、多くの勝ち組トレーダーを輩出しています。

トレードで勝つのは簡単ではありませんが、真面目にトレード技術を手に入れたい、トレードで人生を変えたいと思う方にオススメです。

マニュアル購入者の方向けに、サポートブログもあります。
サポートブログの方では

- ・ MT4用のインディケーターとテンプレートのダウンロードと設定方法の解説
- ・ 無料でできるMT4を使ったトレード練習方法の解説
- ・ 効率の良い検証方法の解説
- ・ マニュアルでは書ききれなかったチャートやトレードの補足事項
- ・ 購入者の方から頂いた質問の解説
- ・ FT2用のGMMAとRCIのインジの配布（製作者様のご厚意です）
- ・ 日々のトレード解説

等をやっています。マニュアルを一度読まれたら、サポートブログの方も一緒に読んで頂ければ、より一層理解が深まると思います。